

【資料】

看護領域における口腔ケアをトピックスとした文献の動向

Trends in the Literature with Topics on Oral Care in The Nursing Field

末永陽子	福岡看護大学	看護学部	看護学科	健康支援看護部門
村田節子	福岡看護大学	看護学部	看護学科	健康支援看護部門
紙谷恵子	福岡看護大学	看護学部		
内田荘平	福岡看護大学	看護学部	看護学科	健康支援看護部門
秋永和之	福岡看護大学	看護学部	看護学科	健康支援看護部門

抄 録

【目的】看護領域における口腔ケアに焦点をあてた文献について整理し、近年の動向を確認することによって看護領域における口腔ケアの今後の展望について検討する。

【研究方法】医学中央雑誌 Web ver. 5 を用いて、2013 年から 2018 年で「口腔ケア」をキーワードとし、最近のトピックスを扱った「解説/特集」・「図説/特集」・「Q&A/特集」を抽出した。抽出された文献について、文献の収録されている雑誌と論文タイトルの中から、トピックスとなる概念を抽出し分類した。

【結果】検索式で抽出された文献は、2013 年が 126 文献、以後 100 文献前後で、計 576 文献であった。

文献の内容を確認し、本研究の目的に該当しない 12 文献を削除して 564 文献を分析対象として分類した結果、最も報告文献数が多かったトピックスとしての概念は「看護技術」に関する 137 文献、次に「がん看護」61 文献であった。

【まとめ】看護領域における口腔ケアに焦点をあてた文献は、2013 年から 2018 年(7 月)までに 564 文献が報告され、各年 100 程度を推移し、口腔ケアに対する関心の高さは現在も継続している。その一因として、2012 年から診療報酬として「周術期口腔機能管理計画料策定」が導入されたことと関連が大きいと考える。また、報告された文献のトピックスとなる概念として最も多かったのは「看護技術」であり、その要因として看護基礎教育におけるテキストの口腔ケアに関する記載率の少なさや、基礎看護教育における専門的口腔ケアの授業時間も少ないことが影響している。

キーワード：口腔ケア，トピックス，文献の動向

緒 言

看護領域での口腔ケアは従来、清潔ケアの一部として認識されてきた。しかし、近年においては衛生管理としての口腔ケアだけではなく、加えて

口腔機能の維持・向上をはかることにより覚醒刺激や生活リズムの獲得など QOL を高める援助としても認識されている。また、歯周病や齲歯などの口腔疾患が全身の健康に影響を及ぼしている

ことが明らかになったことより、様々な領域においても、口腔ケアへの意識が高まっている^{1)~4)}。

日本口腔看護研究会では、口腔アセスメントの普及活動および看護基礎教育で歯科・口腔領域の教育を受けていない看護師向けに口腔看護に関する実践研究会を開催している^{2)~4)}。特に1989年から2009年までの歯科・口腔に関する教育時間が少なかった時代に看護基礎教育を受けた看護師の再教育の必要性を示唆している²⁾。

口腔ケアが誤嚥性肺炎や人工呼吸器関連肺炎を低下させることが多くの研究で明らかとなり、また日本の高齢者人口の増加や、それに伴う摂食嚥下障害の増加などに伴って、看護における口腔ケアの教育・研究の必要性が高まっている^{4),5)}。そこで、近年の看護領域における口腔ケアの文献の動向を確認することによって看護領域における口腔ケアの今後の展望について検討する。

研究方法

本研究は、看護領域における口腔ケアに焦点をあてた文献について、文献データベースを用いた文献検討である。検索には、医学中央雑誌 Web ver. 5 を使用した。医学中央雑誌 Web は、国内発行の、医学・歯学・薬学・看護学及び関連分野の定期刊行物、のべ約7,000誌から収録した約1,200万件の論文情報を検索することができるデータベースである。「網羅的な収集」²⁾を基本方針として据えている。本研究は、看護領域における口腔ケアをトピックスとした研究に焦点をあてている。そのため、国内発刊の刊行物を網羅し、タイムリーな情報検索に適していると考え、適用した。

検索方法は、収載誌発行年を2013年から2018年、看護の文献で、キーワードは「口腔ケア」とした。看護の中での口腔ケアの動向を検討するために、各年の最新のトピックスが扱われていると考えられる「解説/特集」・「図説/特集」・「Q&A/特集」を対象として抽出した。抽出された文献について、研究タイトル、雑誌名、論文種類などを要約するシートを作成し、文献が収録されている雑誌と論文タイトルのキーワードを主体として

分析し、トピックスとなる概念を抽出し分類した。雑誌名とタイトルではキーワードの抽出が困難なものはシソーラスのキーワードを参考に分類した。

分類にあたっては、再現性の確保のために各年2者で分類を行った。また、信頼性と妥当性の確保のために、研究者間で意見が一致するまでディスカッションを重ねた。

倫理的配慮として、本研究は、ヒトを対象とする研究ではなく、文献が対象であるため、倫理審査を受審していない。文献の抽出および整理するにあたっては、著作権を侵害しないように留意し、特定の文献に偏らないこと、著者の意図を損なわないように忠実に抽出し、分析を行った。

結 果

検索式で抽出された文献は、576文献であった。文献の内容を確認し、看護を対象としていない研究は、本研究の目的には該当していないので除外した。除外した文献は12文献であり、最終的に分析の対象とした文献は564文献であった。

対象文献の報告年は、2013年が122文献、2014年97文献、2015年99文献、2016年93文献、2017年103文献、2018年(7月まで)50文献であった。

更に、雑誌と論文タイトルの中から、トピックスとなる概念を抽出し分類した結果、33の概念が抽出された。

該当する文献数が多かった順に「看護技術」137文献、「がん看護」61文献、「クリティカル看護」56文献、「脳神経疾患患者の看護」47文献、「呼吸器疾患患者の看護」32文献、「小児看護」30文献、「リハビリテーション看護」29文献、「周術期看護」25文献、「老年看護」25文献、「感染管理」25文献であった(表1)。「看護技術」の概念を注目してみると、2013年が36件と最も多く、その後は2015年に7件と少ない時期があるものの、一定して20件以上の件数を維持していた。

表 1.看護領域における口腔ケアに焦点をあてた文献の概念数

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	合計
概念 合計	122	97	99	93	103	50	564
看護技術	36	24	7	23	24	23	137
がん看護	14	8	15	14	9	1	61
クリティカル看護	5	15	21	10	5		56
脳神経疾患患者の看護	5	1	5	17	19		47
呼吸器疾患患者の看護	6	2	5	2	17		32
小児看護	4	3	3	2	4	14	30
リハビリテーション看護	7	11	6	1	4		29
周術期看護	3	9	2	6	1	4	25
老年看護	6	7	6	2	1	3	25
感染管理	5	3	3	3	4	1	19
看護教育	3	1	8	2			14
誤嚥性肺炎予防	11						11
循環器疾患患者の看護	4	1			3	1	9
地域連携			1	6	1	1	9
看護用具			7				7
終末期看護		2	1	3	1		7
多職種連携					3	1	4
チーム医療		3		1			4
糖尿病看護		1	1		2		4
透析治療中の患者の看護	2		2				4
看護管理			2		1	1	4
在宅看護		2			1		3
地域看護	2		1				3
周産期看護	3						3
消化器疾患患者の看護	2	1					3
精神疾患患者の看護	2		1				3
栄養		1	1				2
外来看護					2		2
整形外科患者の看護				1	1		2
摂食嚥下		2					2
泌尿器疾患患者の看護	1						1
退院指導			1				1
自己免疫性疾患患者の看護	1						1

考 察

2013 年～2018 年（7 月）までの看護領域における口腔ケアに関する文献は 564 件であり、そのうち 2013 年が最も件数が多かった（216 件）。中井らは、看護職による口腔ケアの動向において、1998 年から 2003 年の期間で『口腔ケア』と『看護』の 2 つをキーワードとして会議録を除く全ての論文について文献検索をした。その結果、25 件から 130 件であった⁴⁾と報告している。このころより、口腔ケアを対象とした文献は増加している。本研究では、同様のキーワードで「特集」に限定した文献検索であったが、それでもなお 100 件程度を維持し、現在も高い水準で維持している。これは 2012 年から診療報酬として「周術期口腔機能管理計画料策定」⁶⁾が導入されたことと関連が大きいと考える。周術期口腔機能管理の保険導入の背景には、2010 年のがん対策基本法の改正とそれに伴い、2012 年に策定されたがん対策基本方針に、「医科歯科連携による口腔ケアの推進」が、重点項目として記載された経緯がある。また、具体的疾患として、全身麻酔下でのがん、心臓、臓器移植手術、がん放射線治療、がん化学療法、緩和医療などが、保険給付の対象となったことから、様々な医療施設において、口腔ケアの重要性が見直され、がん治療の周術期口腔ケアを積極的に実施された^{6),7)}。さらに、2018 年 3 月より「周術期口腔機能管理」⁸⁾が広く適応されたことで、現在まで口腔ケアへの関心の高さが継続していると考えられる。

次に、分類概念をみてみると「看護技術」に関するものが最も多かった。これは、看護職者や看護教育の中で口腔ケア技術に関する関心の高まりがうかがえる。これまでの看護教育や看護実践では、口腔ケアは取り上げられてはいても十分な教育やトレーニングが行われていなかったことが考えられる。松下ら⁹⁾の研究では、口腔ケアに関わる医療職者の専門的口腔ケアの授業時間等の調査によると歯科医師 320 分、医師 45 分、歯科衛生士 11,760 分、看護師 121 分、言語聴覚士 138 分となっている。看護基礎教育の中では、口

腔ケアに関する時間数は決して十分とは言えない。特に看護教育では 1989 年に第二次の看護教育指定規則の改正時に老人看護学が新設された時期に歯科・口腔に関する教育時間が削減されている¹⁰⁾。

更に、近年口腔ケアに関する「看護技術」が注目されている背景の一つには高齢者人口の増加とそれに伴う摂食嚥下障害が増加してきたことが関連していると考えられる。従来、看護基礎教育においては、単に口腔衛生を図る目的での口内清掃に関する内容が多かったが、2009 年には誤嚥性肺炎予防の口腔ケアや摂食嚥下リハビリテーションに関する教育内容が盛り込まれている。さらに、残存歯が多いほうが経口摂取は良好であり、活動も活発であることが報告されている。このような背景から 1989 年には厚生労働省と歯科医師会から 8020 運動が提唱された¹¹⁾。しかし歯科疾患実態調査において歯が多く残存する高齢者の口腔管理は、齲蝕や歯周病、複数の種類の補綴物があり、口腔の清掃が困難な状況にある。そのため、アセスメントや実践に関する専門的な知識技術が必要とされる。これは看護基礎教育での教授内容としては難易度が高いと考えられる。また、歯科衛生士の業務との住み分けも明確でないのが現状である。

その他の分野ではクリティカル看護、脳神経疾患患者の看護、呼吸器疾患患者の看護、小児看護に関するトピックスが多かった。これらは、気管挿管中の対象者や意識が覚醒していない対象者、嚥下機能に問題がある対象者など、ケアによって合併症の低下が見込まれるが、アセスメントや実践に関する専門的な知識技術が必要とされる^{2),3)}。このような背景から、口腔ケアに関する関心が高まっていると考えられた。

現在注目されている看護師が行う口腔ケアは「口腔清掃」に関するものが多いが、今後は、口腔内をアセスメントする能力や、コミュニケーションや well-being を基盤とした口腔機能の改善につながるケアの研究・開発が望まれる。

結 語

看護領域における口腔ケアをトピックスとした文献を概観した結果、

1. 口腔ケアに関する文献は100件程度で推移し、口腔ケアへの関心の高さは現在も継続している。
2. 口腔ケアに関するトピックスを取り扱った文献の概念を抽出し分類した結果、33の概念が抽出された。

本研究の一部は、日本看護研究学会 第23回九州・沖縄地方会学術集会において発表した。

尚、本研究においてすべての著者には、申告すべき利益相反事項はない。

引用文献

- 1) 川島みどり:生活行動援助の技術,第3版,看護の科学社,東京.170-171,2014
- 2) 村松真澄:口腔の清潔に関する教育・医療・介護現場の実態調査から.看護実践の科学,43(13),58-62,2018
- 3) 仲前美由紀,道重文子,川北敬美他:口腔ケアにおける看護継続教育に関する文献検討.大阪医科大学看護研究雑誌,7,124-130,2017
- 4) 中向井政子,石田直子:看護職による口腔ケアの動向.湘南短期大学紀要,15,35-38,2004
- 5) 日本口腔看護研究会:日本看護研究学会.
<http://www.jaon.jp/about/> (2018年12月5日)
- 6) 厚生労働省保健局医療課(2012):平成24年度診療報酬改定の概要.
<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12400000-Hokenkyoku/0000197979.pdf>(2018年12月5日)
- 7) 厚生労働省保健局医療課(2016):平成28年度診療報酬改定の概要.
<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12400000-Hokenkyoku/0000115977.pdf> (2018年12月5日)
- 8) 厚生労働省(2017):第5回歯科医師の資質

向上等に関する検討会 資料2 医科歯科連携の取り組み.[https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10801000-Iseikyoku-](https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10801000-Iseikyoku-Soumuka/0000170920.pdf)

Soumuka/0000170920.pdf(2018年12月5日)

- 9) 松下英二,伊賀弘起,吉田幸恵他:口腔ケアに関連する国家試験の出題基準・出題状況および教育内容の調査研究.日本口腔ケア学会雑誌,8(1),22-28,2014
- 10) 厚生労働省(2011):看護師3年課程教育内容の変遷 第1回看護教育の内容と方法に関する検討会 資料6.
<https://www.mhlw.go.jp/shingi/2009/04/dl/s0428-8f.pdf> (2018年12月5日)
- 11) 日本歯科医師会:国民の皆様 啓発活動8020運動.
<https://www.jda.or.jp/enlightenment/8020/index.html>(2019年1月17日)
- 12) 梶原江美,飯野英親:過去3年間に出版された基礎看護技術のテキストにおける口腔ケアに関する頁記載率と記載内容.福岡歯科大学学会雑誌,44(増補),63,2018

Trends in the Literature with Topics on Oral Care in The Nursing Field

Yoko Suenaga

Fukuoka Nursing College Faculty of Nursing Department of Nursing Division of Support Nursing

Setsuko Murata

Fukuoka Nursing College Faculty of Nursing Department of Nursing Division of Support Nursing

Keiko Kamitani

Fukuoka Nursing College Faculty of Nursing Department

Sohei Uchida

Fukuoka Nursing College Faculty of Nursing Department of Nursing Division of Support Nursing

Kazuyuki Akinaga

Fukuoka Nursing College Faculty of Nursing Department of Nursing Division of Support Nursing

Key Words 「oral care , topics , trends in the literature」

We review literatures focusing on oral care in the nursing field and consider the future prospects of oral care in the nursing field by confirming recent trends.

Using the medical center journal Web ver. 5, from 2013 to 2018, "oral care" as a key word. The we extracted "commentary / feature" handling recent topics, "illustration / feature" , and "Q & A / Special feature ". For the extracted literatures, we classified the journals containing the literatures and the paper titles.

Documents extracted by search expressions were 126 documents in 2013 and about 100 documents since then, totaling 576 documents.

As a result of confirming the contents of the literature and deleting 12 literatures which do not correspond to the object of this research and we classified 564 documents as analysis targets, which the concept as a topic with the largest number of reported documents as " nursing skill" was 137 references.

The literatures focusing on oral care in the nursing field had been reported 564 documents from 2013 to 2018 (July). The high interest in oral care is currently is also continuing. We assumed that it is closely related to the introduction of "Perioperative periodic oral function management plan amount planning" as a medical fee from 2012. In addition, we also indicate as the topic of the reported literatures, that the most common concept was "nursing skills", which is attributable to the low rate of textual oral care in basic nursing education and less teaching time affecting the special oral care in basic nursing education.